

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 伝統芸能魅力発信事業費 (R 8分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 文化創造課 文化振興係 電話番号：058-272-1111（内3117）

E-mail : c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 34,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	34,000	16,845	0	0	0	0	0	0	17,155
決定額	26,454	13,072	0	0	0	0	0	0	13,382

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

これまで、40を超える地芝居保存団体と古くからある芝居小屋が数多く残る“地芝居大国ぎふ”として、地芝居の振興、保存・継承とその魅力発信に取り組んでいる。

ぎふ清流文化プラザにおいて、平成28年から「地歌舞伎推進プログラム」、「清流の国ぎふ2020地歌舞伎勢揃い公演」、「清流の国ぎふ」文化祭2024（以下、「国民文化祭」という。）さきがけプログラムとして「清流の国ぎふ地歌舞伎勢揃い公演」を開催してきた。

令和6年度に開催した国民文化祭では、「ぎふ清流座」（令和4年にぎふ清流文化プラザ長良川ホールをリニューアル）をメイン会場として、「清流の国ぎふ 地芝居・伝統芸能フェスティバル」を、地歌舞伎公演の集大成として開催し、岐阜県を代表する伝統芸能である地芝居（地歌舞伎・文楽・獅子芝居）の魅力を、県内外に集中的に発信した。

こうした取り組みを一過性のものとせず、県内の伝統芸能の魅力を広く国内外に発信するため、年間約35万人（うち外国人約14万人）の観光客が訪れる国史跡「高山陣屋」等において伝統芸能を披露するほか、引き続き「ぎふ清流座」での地芝居公演を定期的に開催することで、鑑賞機会の提供と県内の伝統芸能保存団体の発表の機会を創出することにより、岐阜の伝統芸能の振興、保存・継承を図っていく。

(2) 事業内容

①伝統芸能公演の開催

県有の国史跡「高山陣屋」等を県内伝統芸能の魅力発信の場の一つとして位置づけ、外国人観光客等を対象とした伝統芸能公演等を実施する。

②地芝居（地歌舞伎、文楽、能狂言、獅子芝居）公演の開催

「ぎふ清流座」（ぎふ清流文化プラザ）において、地芝居公演を開催（年3公演）するほか、「地芝居大国ぎふ」PRコンテンツの制作・広報を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県主催事業として開催するため、県負担とする。
(地域未来交付金)

(4) 類似事業の有無

無し。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	309	業務旅費
需用費	10	消耗品費
役務費	9	郵送料
委託料	33,672	伝統芸能魅力発信事業委託費
合計	34,000	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1) 地域の魅力の創造・伝承・発信

① 「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承

(2) 国・他県の状況

- 能楽鑑賞機会提供、伝統芸能技能向上支援（石川県）R6年度 19,000千円
R7年度 21,000千円

(3) 後年度の財政負担

県内の伝統芸能の魅力を広く国内外に発信し、伝統文化の振興、保存・継承を図るために、継続的な開催が必要である。

(4) 事業主体及びその妥当性

鑑賞機会の提供と県内の伝統芸能保存団体の発表の機会を創出することにより、県内の伝統芸能の魅力を広く国内外に発信し、岐阜の伝統芸能の振興、保存・継承を図る事業であり、県が主体的に行うことは妥当。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

観光客が訪れる国史跡「高山陣屋」等において県内の伝統芸能の魅力を広く国内外に発信するほか、「ぎふ清流座」での地芝居公演を定期的に開催するなど、鑑賞機会の提供と県内の伝統芸能保存団体の発表の機会を創出することにより、岐阜の伝統芸能の振興、保存・継承を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R8年度 目標	R9年度 目標	R10年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
① 公演における地芝居を初めて見た観客の割合	—	26.0%	27.0%	28.0%	30%	%
② 公演における県外からの観客の割合	—	13.5%	14.0%	15.0%	15%	%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令 和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令 和 5 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令 和 6 年 度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	岐阜県を代表する地芝居（地歌舞伎・文楽・獅子芝居）などの伝統芸能の振興、保存・継承のためには、継続的に鑑賞機会の提供と県内の伝統芸能保存団体の発表の機会を創出する必要があり、事業の必要性は高い。
-----------	---

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)	
------	--

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

伝統芸能の担い手不足が危惧される中において、更なる振興、保存・継承のため、県内外の多様な観客に披露・発信することにより、その魅力や価値の再発見を図っていく。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

伝統芸能の振興、保存・継承のためには、継続的な取り組みが必要である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	県有文化施設デジタル推進事業費（地芝居大国ぎふウェブサイト保守管理） 【文化伝承課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	地芝居大国ぎふWEBミュージアムにおいても、本事業で製作したPRコンテンツを掲載することで、更なる広報効果が得られる。